

# 令和 3年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 公園スタジアム課

担当名: 公園事業担当

内線: 5408

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B12	公園等建設費		一般会計	土木費	都市計画費	公園費	公園等施設整備費	
事業期間	昭和62年度～	根拠法令	都市計画法、都市公園法			宣言項目	04 地域をつなぐ社会基盤の整備	SDGsゴール
					分野施策	051245 みどりの保全と再生	SDGsターゲット	
1 事業概要			5 事業説明					
<p>地域の特色を活かしながら県民のニーズに対応した公園整備を進めるとともに、誰もが安全で快適に利用できる公園施設の充実を図る。</p> <p>(1)アフター・ウィズ・コロナ社会への県営公園整備                      (2)熊谷スポーツ文化公園の防災機能の強化                      財源更生                      (3)動物園におけるSDGs事業                      (4)公園等建設費                      (5)中長期修繕計画に基づく修繕費                      (6)事務費                      経費節減(財政留保)による不用額の減</p>			<p>(1) 事業内容:</p> <p>ア 熊谷スポーツ文化公園の防災機能の強化(熊谷スポーツ文化公園) 245,000千円                      イ 動物園におけるSDGs事業(こども動物自然公園) 60,000千円                      ウ 大宮公園外11公園の施設整備、改築・更新及び未整備公園の維持管理を行う。 500,730千円                      エ 埼玉県庁舎・公の施設の施設マネジメント方針に定める中長期修繕計画に基づき、公園施設の長寿命化を図る。 751,942千円</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア くまがやドーム体育館に空調機能を導入する。                      イ 身近な自然環境を知り、みんなで大切に育てる取組を実施する。(谷戸環境の再生)                      ウ 公園の利用状況や利用者からの意見などを踏まえ、公園の施設整備や改築・更新を行う。                      エ 公園施設中長期修繕計画に基づき更新を行う。</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア ラグビーW杯後の熊谷スポーツ文化公園の利活用を促進するとともに、防災活動拠点として災害時に県民に寄り添ったスピード感のある支援を行うことができる。                      イ 幅広い世代でSDGs活動の取組を知るきっかけとなる。                      ウ 公園施設の整備や機能向上を行うことで、公園の利用者の満足度の向上や安全の確保が図れ、魅力ある公園利用が提供できる。                      エ 公園施設中長期修繕計画に基づき更新を行う。</p>					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)								
3 地方財政措置の状況 一般単独事業債(充当率75%以内)								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 (1) 事業に係る人件費 60,800千円(9,500千円×6.4人)								
予算額		財源内訳					一般財源	補正後の 予算額
		国庫支出金	寄附金	県債				
決定額	△1,409	85,750		△88,000			841	
現計額	1,565,214	36,750	1,000	1,417,000			110,464	